

ふしょうっこ日記

令和7年8月29日

「観察実習」

昨日から、教育実習の後半が始まっています。子供たちと実習生が、久しぶりの再会を喜び合う姿が見られました。約3ヶ月ぶりに子供たちと出会った感想を尋ねると、「とても静かに話を聞けるようになっていました」等、どの実習生からも子供たちの成長を感じる話を聞き、うれしかったです。今日から実習生の授業が始まっています。子供たちも楽しみにしているようで、いつも以上に目を輝かせて学習している様子が見られました。

また、今日は、滋賀大学教育学部1回生の「観察実習」がありました。「観察実習」は、教育学部で学ぶ学生が、教師の視点から学校教育を観察することを目的としています。本校の実習主任が、「①授業の流れを知る②教師の指導の工夫を探る③子供の学びをみとる」という授業を観察する上での3つの視点を示しました。4時間目にそれぞれの学級にわかれ、授業参観を行いました。どの学級でも、熱心にメモを取りながら観察をする学生の姿が見られました。教員は、自分の研究教科で、魅力的な授業を行い、参観されることに慣れている子供たちは、普段どおりの様子で学習に取り組んでいました。それぞれの姿を頼もしく感じました。

